

平成17年11月30日

場所 2年4組教室

1. 主題名 人間愛・思いやりの心 内容項目 2-(2)
資料名「かけ合う一言の大切さ」(全国中学生人権作文コンテスト入賞作品)

2. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

テレビや新聞等のマスコミでは、犯罪等の低年齢化が目につく。これは、現代社会が、単なる仲間同士のなれ合い、甘え合い、無責任という風に人間関係が希薄になったことにも一因があると考えられる。

昨今の中学生の多くが自分の利害や仕事の効率を求めるあまり、利己的な考えに陥り、自分の都合や感情に任せて、他を省みない行動を取ってしまうことも少なくない。また、相手の立場に立って考える機会が少なくなっている為に、困っている人に対してどうしたら良いか分からない生徒が多くなっているのではないだろうか。

人は社会の中で親切にされたり、認められたり、また人の為に何かをすることで、ささやかな喜びを見だし、それが生きていくことへの喜びにつながっていく。このように集団の中で、自分が多くの人によって支えられているという自覚から、周囲の人に対する思いやりの心が育ってくるのだと考える。

そこで、ここでは人と人との関わりの中で、ほんの少しの思いやりの言葉や行為の大切さを理解することで、お互いかけがいのない存在として認め合って生活していくことの大切さに気づかせていきたい。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、運動会や合唱コンクールで優勝する等、強い団結力を発揮することができるが、普段の生活では協調性に欠ける態度が見受けられる。先日実施したPEG検査でも、判断力がありながら実践力に乏しく、個人道徳が高い割に社会性道徳が低い結果がでていた。本来、この時期の生徒は純粋な心で物事を見つめ、精神的に大きく成長する時期である。本時の学習を通して、生徒一人一人が他人を思いやる気持ちを持ち、お互い助け合い、努力し合える仲間を育ててほしいと考えてこの題材を設定した。

(3) 資料について

本時は、全国中学生人権作文コンテストの入賞作品である資料を活用していく。展開では主人公である「私」の心情を明らかにしながら、主人公の心の迷い、葛藤を共感的に捉えさせていきたい。それによって、人間は「弱い存在」であることを認め、他人を思いやりながら望ましい行動を取ろうとする態度や実践力を育てていきたいと考える。

3. 本時の学習

(1) ねらい

主人公(私)の心の葛藤を考えることを通して、思いやりの気持ちを持ち、他の人へのささやかな気配りをしていこうとする態度を養う。

(2) 本時の力点

「グループ学習 ↔ 個人で考える場」といった具合に学習形態を随時変えていくことで、主人公の心情に奥深く迫っていきたい。自分を「私」に投影できればと考える。

(3) 準備

プリント 赤青のポストイット

(4) 展開

段階	配時	学習活動と予想される生徒の反応 (○)	支援 (・) と評価 (◎)									
導入	10	1. 資料「かけ合う一言の大切さ」を音読する。 ○面白い作文だ。声を出して読んでみよう。	・教師、生徒の音読 (2回読ませる) ・生徒にはこの資料を「バスの中で」というタイトルで伝える。									
展開	33	<p>2. 「私」の立場に立って、行為や気持ちが分かる所、おかしい、納得できない所を考える。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">気持ちが分かる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">納得できない</td> </tr> </table> <p>①おじいさんを無視して文句を言う女子生徒に爆発寸前の所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">○私はこの人たちを許せない。そういう気持ちになると思う。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">○僕だったらこの場面で席を絶対譲っていた。 ○勇気がない「私」にもどかしさを感じる。</td> </tr> </table> <p>②席を立ち、声をかけようとした時、他の人に座られてしまう</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">○私ならすぐに席を譲ったと思う。 ○バスの中で声をかけるのは恥ずかしいだろう。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">○そう悩む位なら最初から譲れば良かったのに… ○このサラリーマンの行為は残念だ。</td> </tr> </table> <p>○サラリーマンも悪気がなかったのでは・・・ (この作文には続きがあるんだよ)</p> <p>3. 課題を知り、考えを発表する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">二回目におじいさんに会った時、私はどうしたのでしょうか？</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">席を譲れた</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">何もできなかった</td> </tr> </table> <p>(なぜかな?)</p> <p>○席を譲るという行為に対して、彼女は真剣に悩み、老人のことを思いやる気持ちがあったからだ。 ○この「私」は他の人に対して、愛情をもって接することができる人だから。 ○もう2度と後悔することがないように… 勇気の持てない自分に気づいたから。</p>	気持ちが分かる	納得できない	○私はこの人たちを許せない。そういう気持ちになると思う。	○僕だったらこの場面で席を絶対譲っていた。 ○勇気がない「私」にもどかしさを感じる。	○私ならすぐに席を譲ったと思う。 ○バスの中で声をかけるのは恥ずかしいだろう。	○そう悩む位なら最初から譲れば良かったのに… ○このサラリーマンの行為は残念だ。	二回目におじいさんに会った時、私はどうしたのでしょうか？	席を譲れた	何もできなかった	<p>・考える場面を左下①②とした。生徒に赤と青のポストイットを渡し、共感できるところは赤色、納得できないところは青色に記入するよう指示する。</p> <p>・個人で考えたものをグループ (4人) をつくって、意見を交流し合う。その際グループに2つの場面を書いた用紙を渡し、その用紙にそれぞれ色分けして貼るよう指示する。</p> <p>・どんな意見が多かったか、全体の場で発表する。</p>
気持ちが分かる	納得できない											
○私はこの人たちを許せない。そういう気持ちになると思う。	○僕だったらこの場面で席を絶対譲っていた。 ○勇気がない「私」にもどかしさを感じる。											
○私ならすぐに席を譲ったと思う。 ○バスの中で声をかけるのは恥ずかしいだろう。	○そう悩む位なら最初から譲れば良かったのに… ○このサラリーマンの行為は残念だ。											
二回目におじいさんに会った時、私はどうしたのでしょうか？												
席を譲れた	何もできなかった											
終末	7	4. 授業の感想を書き、普段の生活や学校場面で「思いやり」の心を持つ場がないか考える。 ○お母さんが疲れていたら、お手伝いをしよう。 ○友だちが悩んでいたら、話を聞いてあげよう。 ○口だけは誰でも言える。行動力が大事なんだ。	◎自分なりの、「思いやり」の気持ちをもった行動、実践例を持つことができている。(プリント 発表)									